

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 6 月 8 日作成 第 1.0 版

研究課題名	大弯にかかる上部進行胃癌に対する No. 10 リンパ節予防的郭清のための脾臓合併切除の意義を検証する後向き観察研究
研究の対象	対象期間(1992年1月1日から2018年12月31日)に大弯にかかる上部胃癌と診断され当院で胃全摘術を行った、手術当時20歳以上の患者さん
研究目的 ・方法	目的：大弯にかかる進行胃癌と診断され、臨床的に脾門部リンパ節の転移がない患者さんに対する予防的な脾臓摘出術の意義を検証します。 方法：診療録情報より必要な採血・画像・病理検査結果や年齢、性別、体重などの身体情報及び術後の合併症の発生や生存期間などの観察項目を抽出し統計解析を行います。新規または追加の検査は行ないません。
研究期間	西暦 2021 年 2 月 15 日 ～ 西暦 2023 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	<ul style="list-style-type: none">・ 基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴（糖尿病、心疾患、喘息、閉塞性肺疾患、手術歴など）、臨床病期、術前後化学療法の有無・ 画像検査（術前 CT 画像によるリンパ節転移の有無、サイズ、部位、術後再発形式、主にリンパ節再発の部位）・ 血液検査（腫瘍マーカー、アルブミン値、CRP 値）・ 治療内容（投与薬剤、術式、再建方法、手術時間、出血量、郭清リンパ節個数）・ 病理学的所見（HER2 タンパク発現、深達度、リンパ節転移個数、部位、脈管侵襲）・ 治療効果（術前化学療法を行った症例のみ、組織学的奏功度、RECIST）・ 予後（再発、原病死、他病死）
外部への 試料・情報の 提供	該当あり。 当院で上記の情報を収集します。その上で個人を特定できる情報を削除して匿名化し、情報にパスワードをかけた状態で提供をします。集積した情報は主たる研究機関の横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター医局のパスワードのかかるパソコンで管理します。情報は本研究の終了について報告された日から5年を経過した日、又は本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日まで適切に保管し、その後復元できない方法で廃棄します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	該当なし。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	主たる研究機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科 佐藤 渉 参加機関：横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科 小坂隆司 横浜市立市民病院 消化器外科 高橋 正純 横浜市立みなと赤十字病院 外科 佐藤 圭 国立病院機構横浜医療センター 外科 木村 準 横須賀共済病院 外科 小野 秀高 横須賀市立市民病院 外科 亀田 久仁郎
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科 小坂隆司 電話番号：045-787-2650 FAX：045-782-9161 主たる研究機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター外科 佐藤 渉</p>	